



1. マーケット・レート

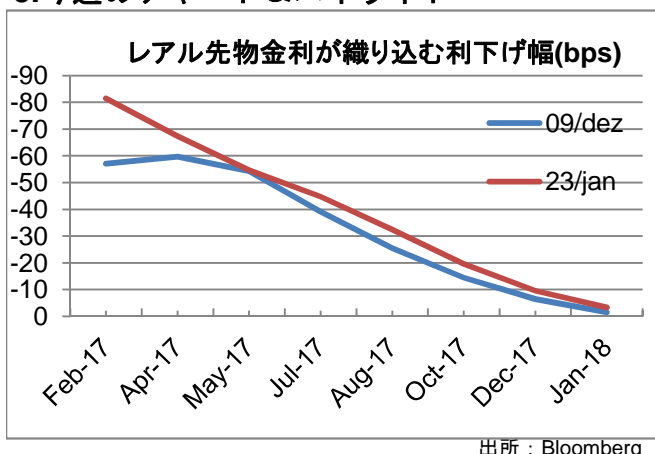
			1月16日	1月17日	1月18日	1月19日	1月20日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.2410	3.2110	3.2230	3.2010	3.1740	-0.0270
	BRL/JPY	Spot	35.21	35.08	35.25	35.86	36.05	+0.19
	EUR/USD	Spot	1.0602	1.0709	1.0670	1.0659	1.07	+0.0039
	USD/JPY	Spot	114.13	112.66	113.60	114.79	114.42	-0.37
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	11.86	11.82	11.79	11.75	11.70	-0.0416
	Future	1Year(p.a.)	11.00	10.99	10.98	10.91	10.90	-0.0179
	On-shore	6MTH(p.a.)	1.888	1.988	2.072	2.068	2.07	-0.002
	USD	1Year(p.a.)	2.270	2.331	2.357	2.376	2.36	-0.018
株式	Bovespa指数		63,831.28	64,354.34	64,121.91	63,847.00	64,521.18	+674.18
CDS	CDS Brazil 5y		252.01	250.07	254.40	255.09	253.85	-1.24
商品	CRB指数		194.540	195.136	193.356	192.965	194.02	+1.050

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 週間市況、トピックス

- 今週のレアルは3.17台まで堅調に推移。
- 週初のレアルは3.2240で寄り付き、英国のEU離脱への懸念を背景にリスクオフムードが広がると週間安値3.2440を示現。しかし、トランプ次期大統領がドル高への警戒を示す発言をしたことを受けてドルが急落すると、レアルは3.20割れまで反発した。その後、伯中銀が市場予想に反してドル売りスワップのロール金額を増額したことを受けてレアルは続伸。週末にかけて行われたトランプ米新大統領の就任演説では保護主義的なスタンスが改めて示されるも新味に欠けたことからドルが下落。レアルは週間高値3.1730を示現し、3.1740で越週。
- 伯中銀公表のエコノミスト予想集計では、2017年の経済成長率予想が0.50%に据え置かれ、2018年予想は2.3%から2.2%に下方修正された。2017年のインフレ率予想は4.81%から4.80%に下方修正され、2018年予想は4.50%に据え置かれた。2017年間の政策金利予想は10.25%から9.75%に、2018年予想は9.63%から9.50%に下方修正された。
- 17日に発表されたCOPOM議事録では、経済活動の弱さからインフレ率が低下するとの見通しが示され、市場では今後の伯中銀による利下げ幅が当初の想定よりも拡大するとの見方が広がった。
- 19日、汚職捜査担当の最高裁判事のザヴァスキ氏が墜落事故で死亡した。同氏は建設大手幹部に係る司法取引の批准手続きを進めていたが、手続きの遅延が懸念されている。
- 20日のトランプ第45代米大統領の就任演説では、貿易、移民、外交のあらゆる面で米国民に恩恵を与える政策を行うと述べられ、権力をワシントンから国民に戻すと宣言された。

3. 今週のチャート&ハイライト



ブラジルレアル利下げ観測強まる

今週発表されたCOPOM議事録では、経済活動が想定されていたより弱く、回復は予想よりも遅くなるとの見解が示された。また、インフレ率は2017年までに4%まで低下するとの予想が示された。市場予想を下回る見通しが示されたことを受けて市場では今後の利下げを織り込む動きが強まった。更にその後発表された1月のインフレ率速報値が前回の6.6%から6%割れまで大きく低下したことを受けて、レアル金利先物は次回2月と4月で約1.5%の利下げを織り込む水準まで低下した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客業のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくご留意申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布することはできません。



4. 来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.10－3.25

来週はブラジルサイドの材料としては伯中銀の介入動向に焦点が集まる。今週、伯中銀はレアルが高値圏にあるにも関わらず、ドル売りポジションのロール金額を増額した。介入警戒感が後退しており、レアルは高値を試しやすい。また、米国新大統領の就任演説をという大きなイベントが終了した後、特に対主要通貨でドル売り調整が入りやすい。レアルは既に11月の米大統領選挙直前の高値圏まで上昇しているが、他の通貨のドル売りにつられてレアルも上昇しやすいと予想する。

5. 本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	登録雇用創出合計	-539,419	-462,366	-116,747

6. 来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	1/23	FGV CPI IPC-S	jan/22	0.65%	0.62%
ブラジル	1/23	貿易収支(週次)	jan/22	--	\$120m
ブラジル	1/23	税收	Dec	124500m	102245m
ブラジル	1/24	FIPE CPI-週次	jan/23	0.62%	0.69%
ブラジル	1/24	経常収支	Dec	-\$4500m	-\$878m
ブラジル	1/24	海外直接投資	Dec	\$6752m	\$8752m
米	1/24	中古住宅販売件数	Dec	5.50m	5.61m
ブラジル	1/25	FGV消費者信頼感	Jan	--	73.3
米	1/25	MBA住宅ローン申請指数	jan/20	--	0.8%
ブラジル	1/26	融資残高	Dec	--	3104b
ブラジル	1/26	ローン残高(前月比)	Dec	--	0.3%
米	1/26	新築住宅販売件数	Dec	585k	592k
ブラジル	1/27	FGV建設コスト(前月比)	Jan	0.31%	0.36%
米	1/27	GDP(年率/前期比/速報値)	4Q	2.2%	3.5%
米	1/27	耐久財受注(前月比)	Dec P	2.6%	-4.5%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願ひ申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。